

和歌山市六十谷水管橋落橋の概要

【概要】

- ・発生時刻: 令和3年10月3日(日) 午後3時45分頃
 - ・影響: 和歌山市の紀の川以北約6万世帯(約13.8万人(市全体の約4割))で断水。
 - ・給水体制: 令和3年10月4日(月)より応急給水所を設置(最大30か所)
 - ・仮復旧: 六十谷水管橋の約40m上流にある六十谷橋の車道を利用し、仮設のバイパス管(6m×約100本)を敷設
 - ・10/ 6(水)工事着工
 - ・10/ 8(金)工事完了、配水池への送水開始(22:38)
 - ・10/ 9(土)配水池から一般家庭への給水開始(8:30)
- ＜水質検査の実施＞
- ・10/10(日)飲料水としての使用開始(20:00)

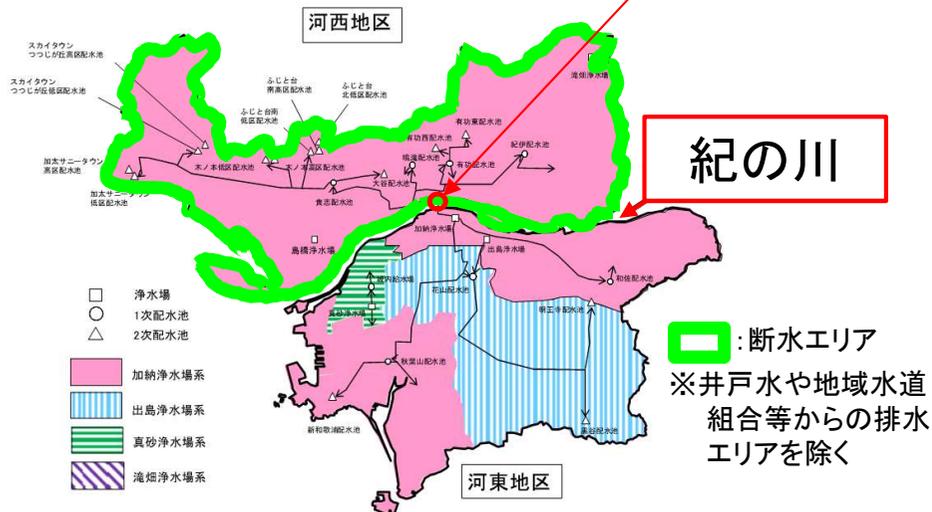


六十谷水管橋落橋状況
(和歌山県国道事務所CCTV)

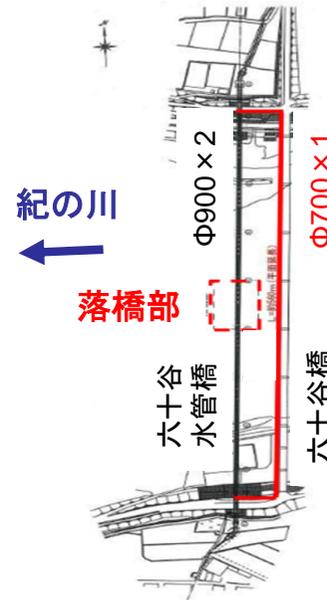
【位置図】

【発生箇所】

和歌山県和歌山市六十谷水管橋
(L=564m)内、59mが破損



【仮復旧】



出典: 和歌山市水道事業経営戦略 2019年3月 和歌山市水道局

※本資料は和歌山市HP等の情報により取り纏め

●給水や復旧に向け、10/3～13の間で、職員延べ49人・日、散水車10台、ドローン1台を派遣

緊急的な支援

- ・給水による2病院及び7学校の機能確保
- ・飲料水及び給水袋のプッシュ型支援
- ・水利権の緩和による防火用水の確保



病院及び学校受水槽への給水



↑ 飲料水の運搬



仮置き場への搬入→

仮復旧に向けた支援

- ・迅速な占用許認可手続きにより早期復旧を支援
- ・仮設配管材の確保に向け、資材メーカーに要請
- ・六十谷橋通行止めに伴う周辺の渋滞予測と対策検討(和歌山県と合同で実施)



仮復旧作業の状況

本復旧に向けた支援(原因究明)

- ・国土技術政策総合研究所及び土木研究所の専門家を派遣し、現地調査を実施(10/6,7)
- ・落橋時やドローン調査の映像提供



↑ 専門家による調査

ドローンによる調査→

●全国からの物資支援

	散水車	ペットボトル (2L)	給水袋 (10L)
近畿地整	2台	4,000本	—
関東地整	2台	—	—
中部地整	2台	—	10袋
中国地整	2台	—	391袋
四国地整	2台	3,900本	—
九州地整	—	—	600袋
合計	10台	7,900本	1,001袋

リエゾンの派遣

